
2013年3月期決算説明会資料
～ 中期経営計画「IK2013」の進捗について～

2013年6月6日

稲畑産業株式会社

代表取締役社長

稲畑 勝太郎

営業利益100億円の達成をめざす

中期経営計画目標(2014年3月期)

連結売上高	: 5,500億円
連結営業利益	: 100億円
ROE	: 7.4%
ネットD/Eレシオ	: 0.72倍以下(注)
自己資本比率	: 29.1%
想定為替レート	: 1USD=81.49円

(注) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入
2. 新興国市場への取り組みの拡大
3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化
4. グローバル人材育成のスピードアップ
5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

「IK2013」2年目の進捗状況(定量面)



(億円)	2013年3月期				
	13/3期実績 (A)	通期見通し	見通しとの差異	「IK2013」 2年目 目標(B)	達成率 (A/B)%
売上高	5,011	5,000	+ 11	5,200	96.4%
売上総利益	342	330	+ 12	340	100.6%
営業利益	81	80	+ 1	90	90.0%
経常利益	100	90	+ 10	90	111.1%
当期純利益	69	54	+ 15	54	127.8%
ネットD/Eレシオ	0.50	0.75	-	0.72	順調
自己資本比率	35.4%	30.3%	-	29.1%	順調
為替レート(米ドル)	86.58	80.00円	-	81.49円	-

(注)「IK2013」2年目 目標は2011年5月策定。

「IK2013」最終年度の見通し(定量面)



売上高、営業利益は当初目標に未達となるが、
経常利益、当期純利益は達成の見通し

(億円)	2014年3月期		
	通期見通し	「IK2013」 最終年度目標	目標との 差異
売上高	5,100	5,500	400
営業利益	90	100	10
経常利益	100	100	+ 0
当期純利益	60	60	+ 0
為替レート(米ドル)	90.00円	81.49円	-

(注)「IK2013」2年目 目標は2011年5月策定。

1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入

強みであるアジア事業を徹底的に強化



樹脂コンパウンド事業の拡充

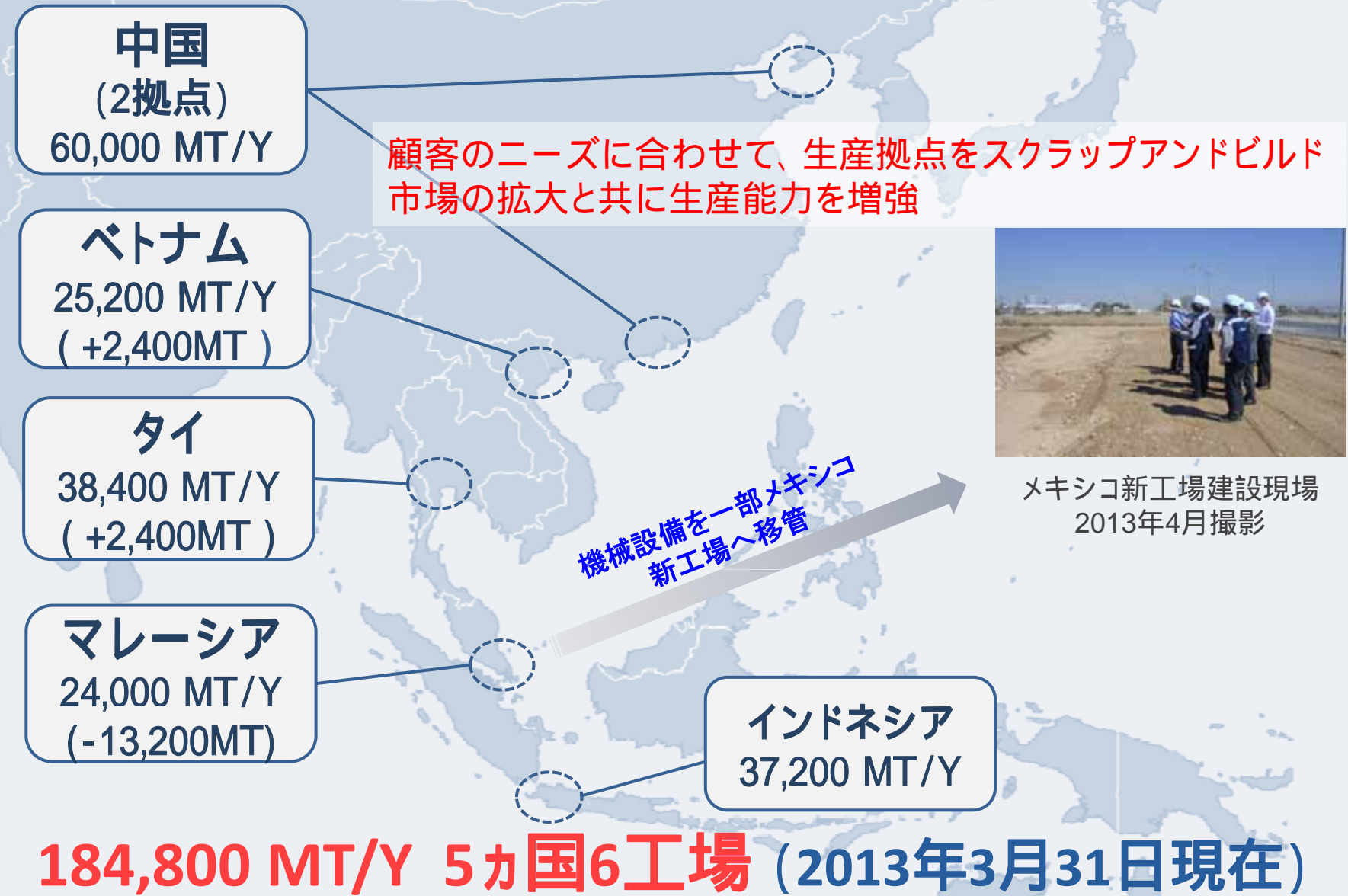
コンパウンド統括室を中心にアジア5ヵ国6工場で連携強化

- 最適な地域・規模での生産体制の確立
- 設備・原料の平準化、一括購入によるコスト削減



樹脂コンパウンドの取り扱いにより、他社との差別化を図る
車両分野を中心に商社部門のビジネス拡大

アジア地域における樹脂コンパウンドの年間生産能力



(注) カッコ内は生産能力の前期比増減 Copyright © INABATA & CO., LTD 2013

中国に対する取り組み



中国



2013年3月期 売上高実績値

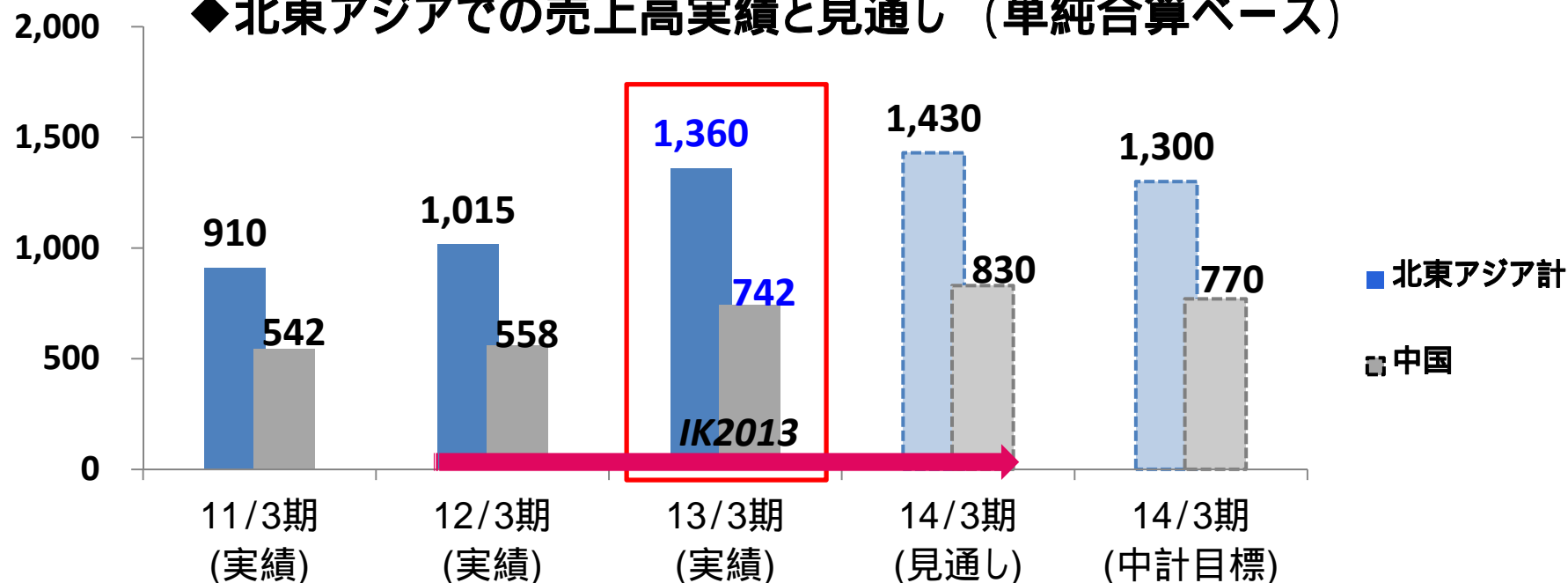
北東アジア 1,360億円

うち 中国 742億円 (単純合算ベース)

北東アジアの13/3期売上高は、14/3期中計目標値を上回る

(億円)

◆北東アジアでの売上高実績と見通し (単純合算ベース)



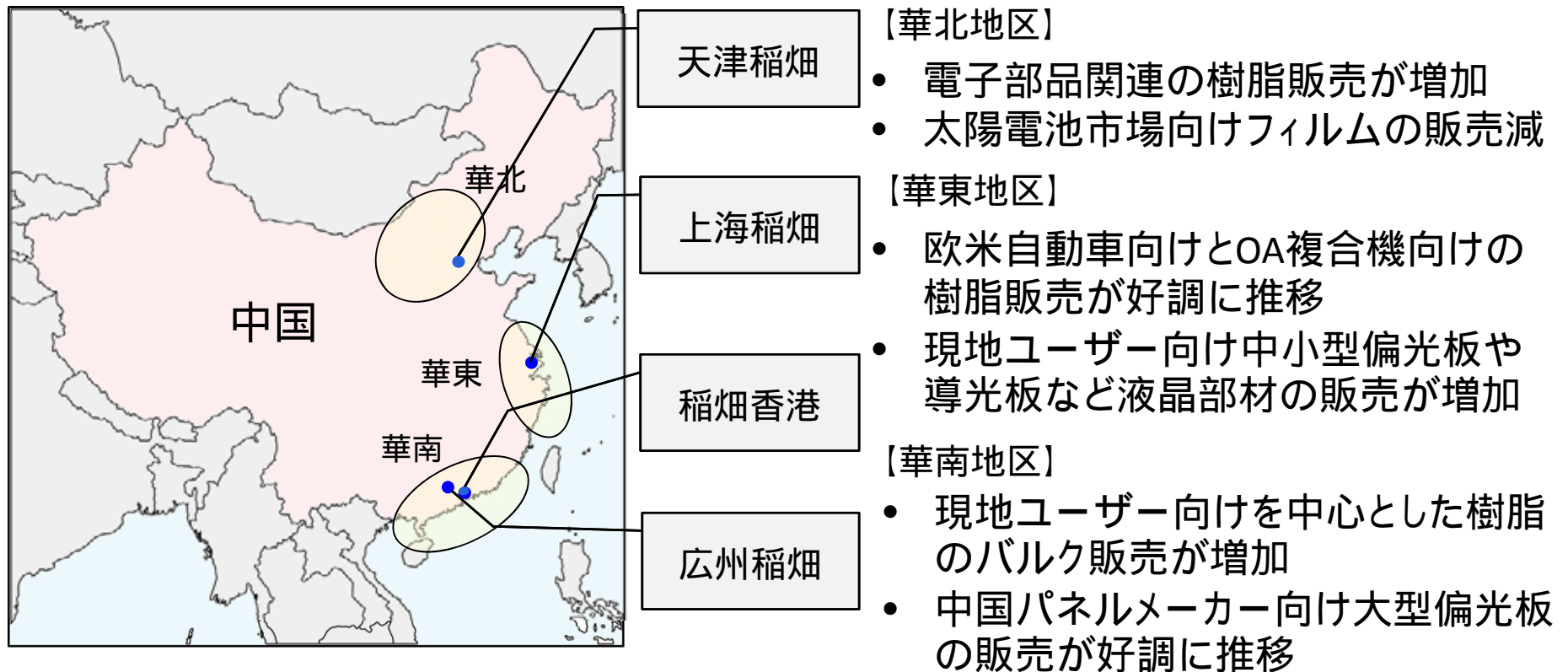
(注)北東アジアは、中国、台湾、韓国。

Copyright © INABATA & CO., LTD 2013

中国でのビジネスの状況

日系自動車メーカーの減産の影響はあったものの、現地ユーザー向けを中心に液晶関連・合成樹脂関連のビジネスが伸長

日系顧客との好関係を維持しつつ、現地顧客とのビジネス拡大を進める



2. 新興国市場への取り組みの拡大

インド・ブラジルと共に、**メキシコ**に注力

日系自動車メーカーのメキシコでの生産規模拡大

(NISSAN, HONDA, MAZDA)

自動車部材メーカーのメキシコ進出加速



メキシコに商社と樹脂コンパウンド工場を設立



IK プラスチック コンパウンド
メキシコ建設現場全景
2013年4月撮影

メキシコでのビジネスの状況

日系自動車メーカーの新工場の量産化が始まる2014年に向け

- 2012年8月 メキシコ中部ケレタロ市に商社現地法人を設立
- 2012年11月 中部地区シラオ郊外に樹脂コンパウンド製造工場設立
2013年末からの現地生産を目指し、工場を建設中

日系自動車メーカー

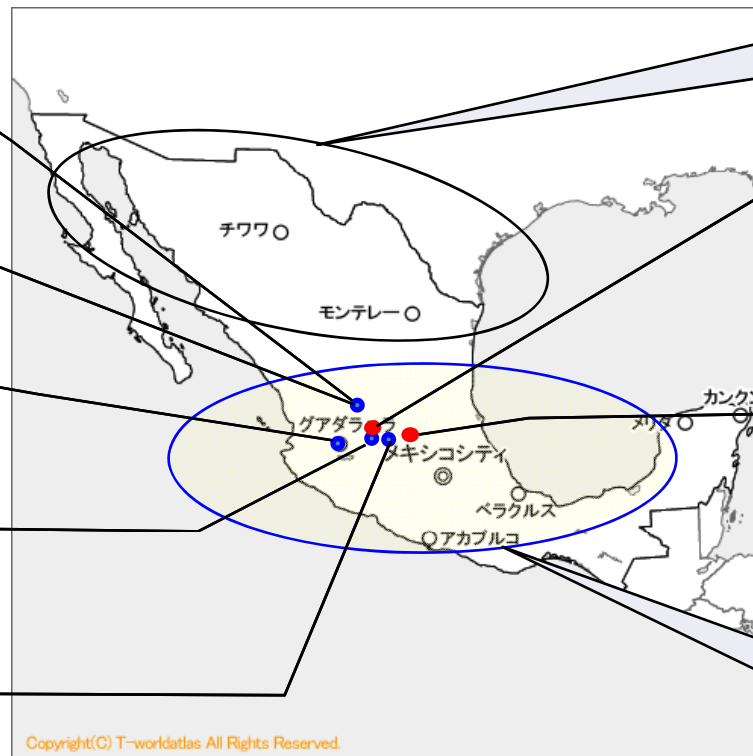
Nissan
アグアスカリエンテス

Nissan (New)
アグアスカリエンテス

Honda
グアダラハラ

Mazda (New)
サラマンカ

Honda (New)
セラヤ



既存部品メーカー立地

IK プラスチック コンパウンド
メキシコ (製造拠点)
シラオ郊外

稲畑メキシコ
(商社)
ケレタロ

新規投資は中部に集中

インドに対する取り組み

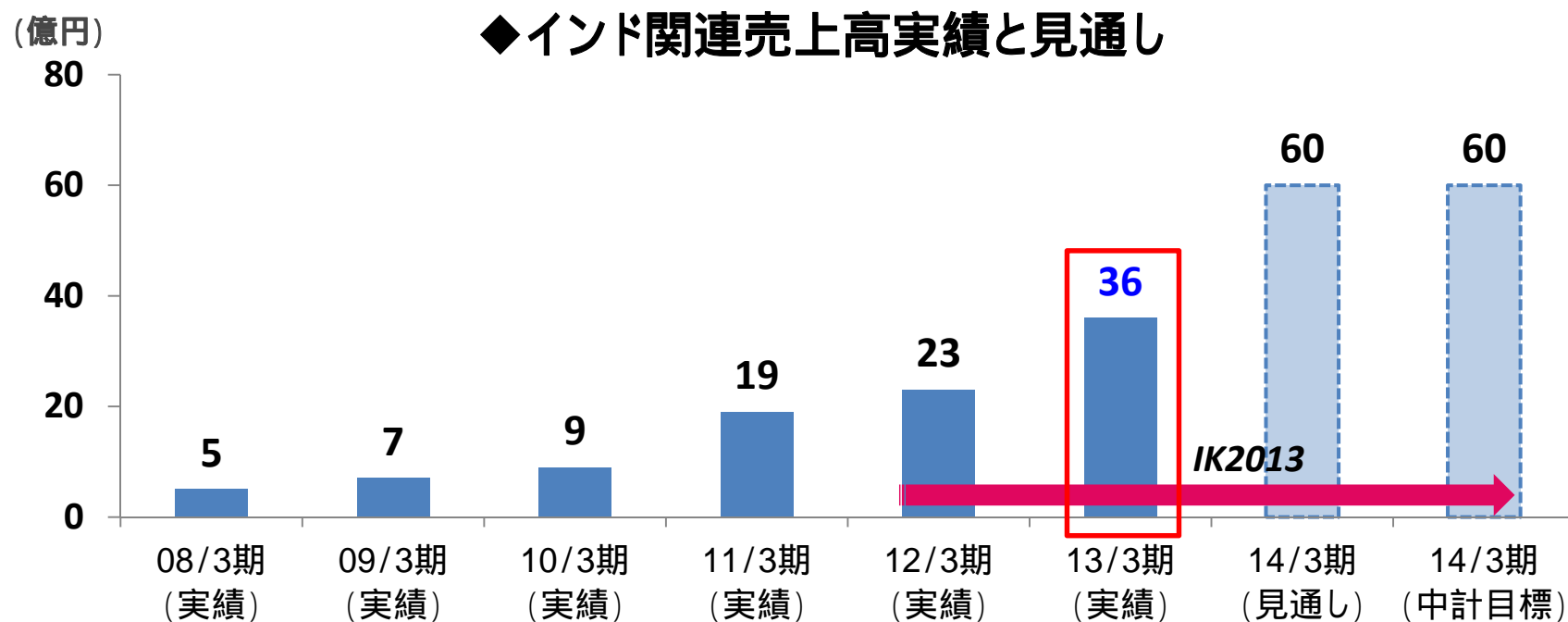
IK

インド

重要市場のひとつとして、事業拡大に向けた取り組みを加速



2013年3月期 売上高実績値
36億円

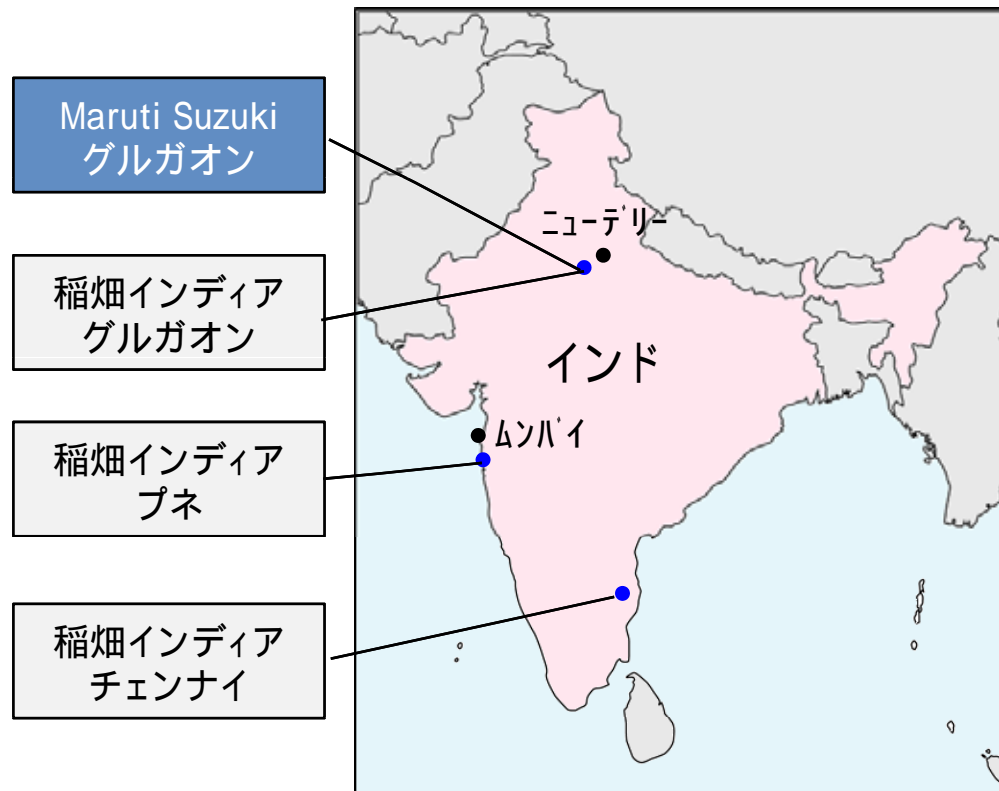


(注)インド現地法人の取引はコミッションベースが主体のため、マージン率よりみなし売上高を算出。

インドでのビジネスの状況

インドの経済成長が鈍化する中、当社の日系顧客主体のビジネスモデルが生かせないところもあり、当初想定より進捗が遅れる

社内体制を強化し、長期的な視点に立って取り組みを強化



【注力するビジネス】

- インド市場へ注力する欧州や韓国メーカーとの取り組みを強化
- 在庫機能を生かした輸入樹脂販売の深耕
- PET樹脂などの輸出の拡大
- ジェネリック医薬品の受託製造

製造業に関連する他社と差別化できる商材の取り扱いを目指す

ミャンマーでの取り組み

民主化、開放路線が進み、多くの日系企業が進出を検討する
ミャンマーに、稲畑タイの駐在員事務所として、
2013年1月1日 ヤンゴン事務所を開設



稲畑タイ
ヤンゴン事務所

稲畑タイ
バンコク



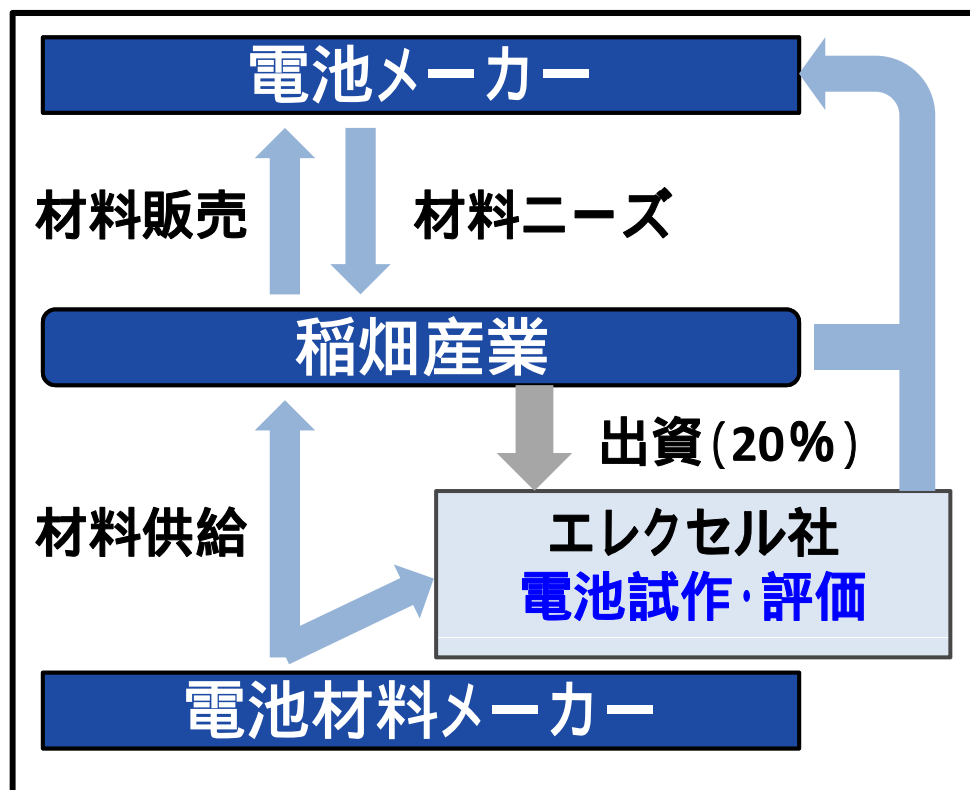
経済インフラの未整備等により
本格的な工業化には時間がかかると
思われるが
将来のマーケットとして
情報収集を開始

- プラスチック成型品
- コンシューマーグッズ
- 海産品
- 木材加工品 など

3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

二次電池(LIB)関連ビジネスの展開

エクセル社による電池試作/評価事業を武器に
国内外で電池材料販売を展開



電池材料開発の活況により、試作・評価ビジネスも好調に推移

- 韓国電池メーカー向けに材料販売の実績
- ニッチ市場への売込の検討
- 電池システムの販売も視野

3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

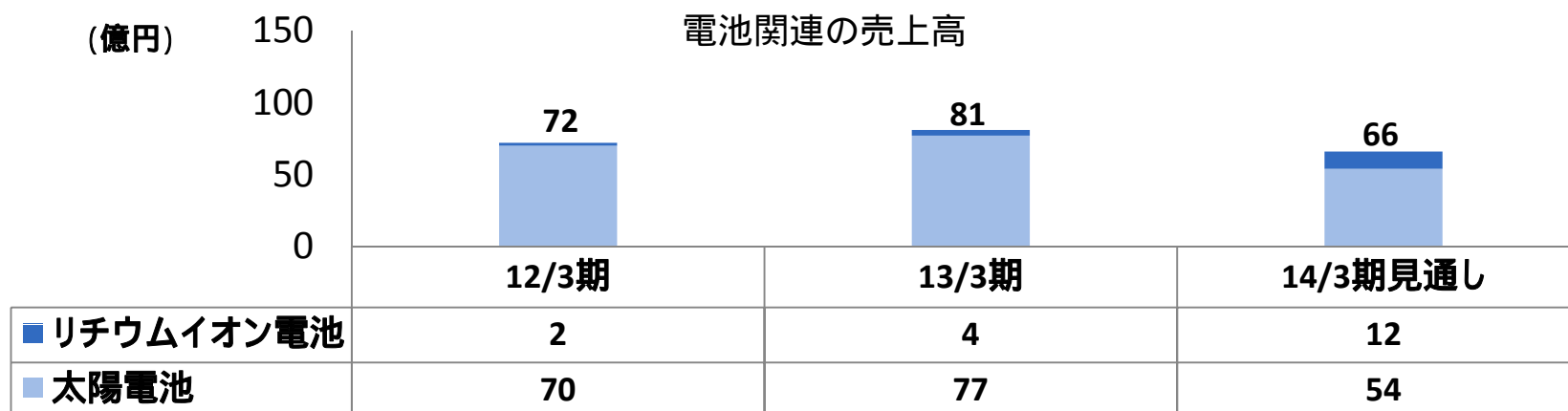
電池関連ビジネスのマーケットと売上高

太陽電池マーケット

2012年7月より始まった全量買取制度により国内市場は活況。当社ビジネスもARガラスなどが伸長した。一方、世界市場は需要があるものの、供給過多の状況。価格の下落傾向が続き、金額ベースでのマーケットは縮小。モジュールメーカー、部材メーカーの淘汰が続いている。

リチウムイオン電池マーケット

期待されたEV車の普及が遅れており、本格的な需要は2015年頃からと予測されている。今後、バックアップ電源用蓄電池の需要増が見込まれ、直近のターゲットとなる。



(注)リチウムイオン電池は、単体の数値。太陽電池はワールドワイドの数値。

ライフサイエンス事業の取り組み

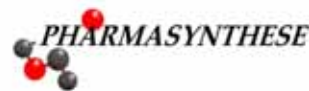
フランスのグループ会社 ファルマサンテ社において
医薬・化粧品の有効成分を製造

稲畑フランスでは、同社製品の販売を中心として
グローバルに医薬・化粧品関連の商社ビジネス拡大を進める

製造から品質管理まで日本基準を徹底



2013年4月、パリで開催された
化粧品関連展示会の当社ブース



ファルマサンテ・フランス
Pharmasynthese S.A.S.

57,Rue Gravetel 76320 Saint Pierre Les Elbeuf ,France
事業内容 医薬品・化粧品の有効成分の製造等
売上高 18億円(2012年12月実績)



「IK2013」の進捗状況(重点施策)



4. グローバル人材育成のスピードアップ

- 日本からの海外赴任者を3年以内に100名とする
- 海外商社部門の増員
3年以内(2014年3月期)に最低600名、5年を目途に700名に

	2012年3月末	2013年3月末	増減
海外赴任者人数	78名	90名	+12名
海外商社部門人数	533名	570名	+37名

(注)海外赴任者人数は4月1日現在



[稲畑インドネシアのスタッフ]

5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

●3年間の投資枠を90億円に設定

2013年3月期までの投資実施状況

2011年からの累計 50億円

累計実績内訳:

合成樹脂28億円、生活産業4億円、化学3億円 他

2013年3月期の主な投資実績:

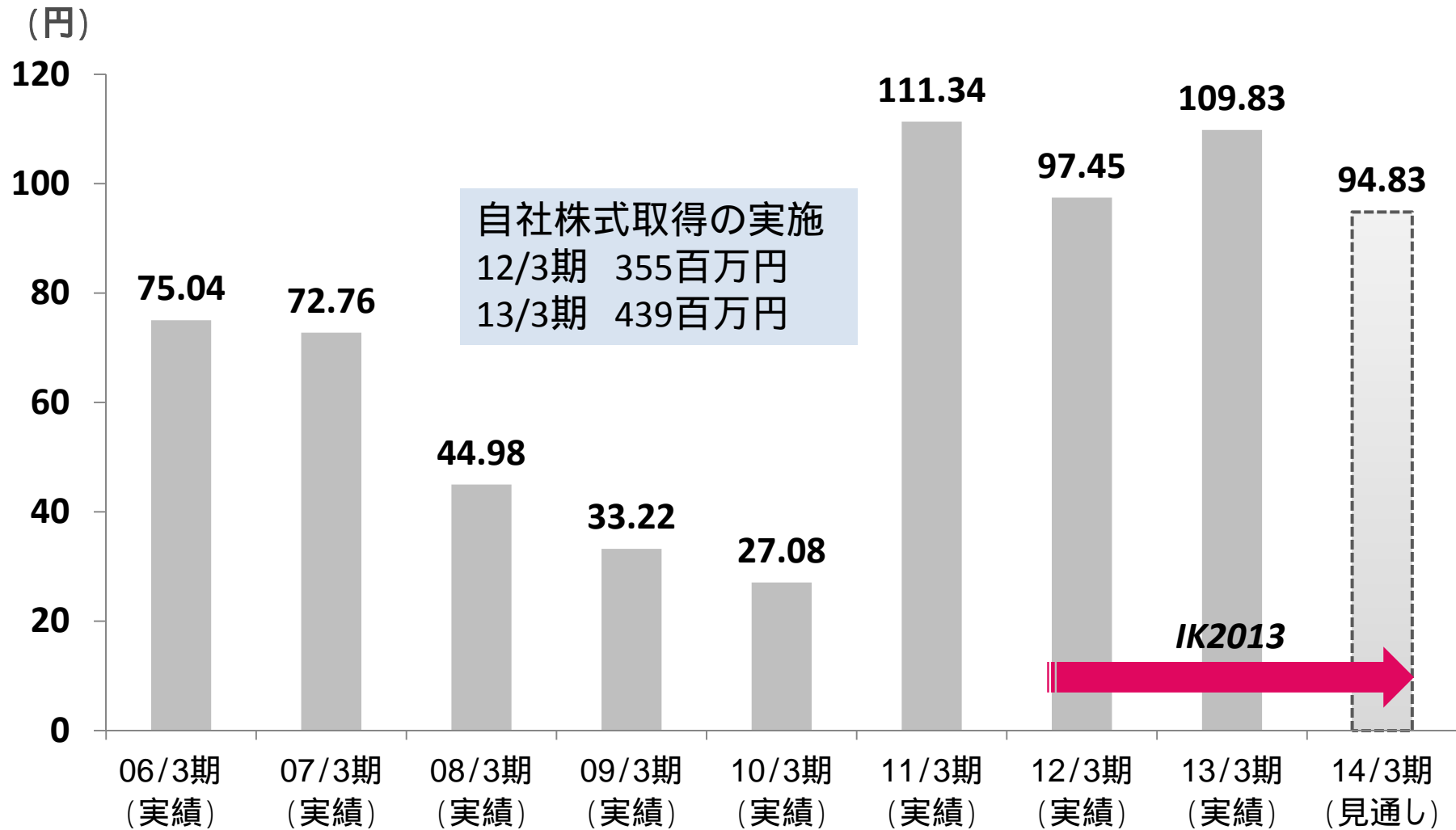
コンパウンド事業 資本・設備投資(8.1億円)

フランス医薬中間体事業 設備投資(1.7億円)

□ 「IK2013」投資計画 90億円(新規 3年間合計)

既投資案件	: 継続的見直しによる選択と集中
新規投資案件	: 成長の期待できる事業分野と地域に重点的に配分
重点事業分野	: 「情報電子」、「合成樹脂」、「化学品」の3事業分野
重点地域	: 中国、インドを含むアジア地域、中南米

1株当たりの当期純利益推移(EPS)

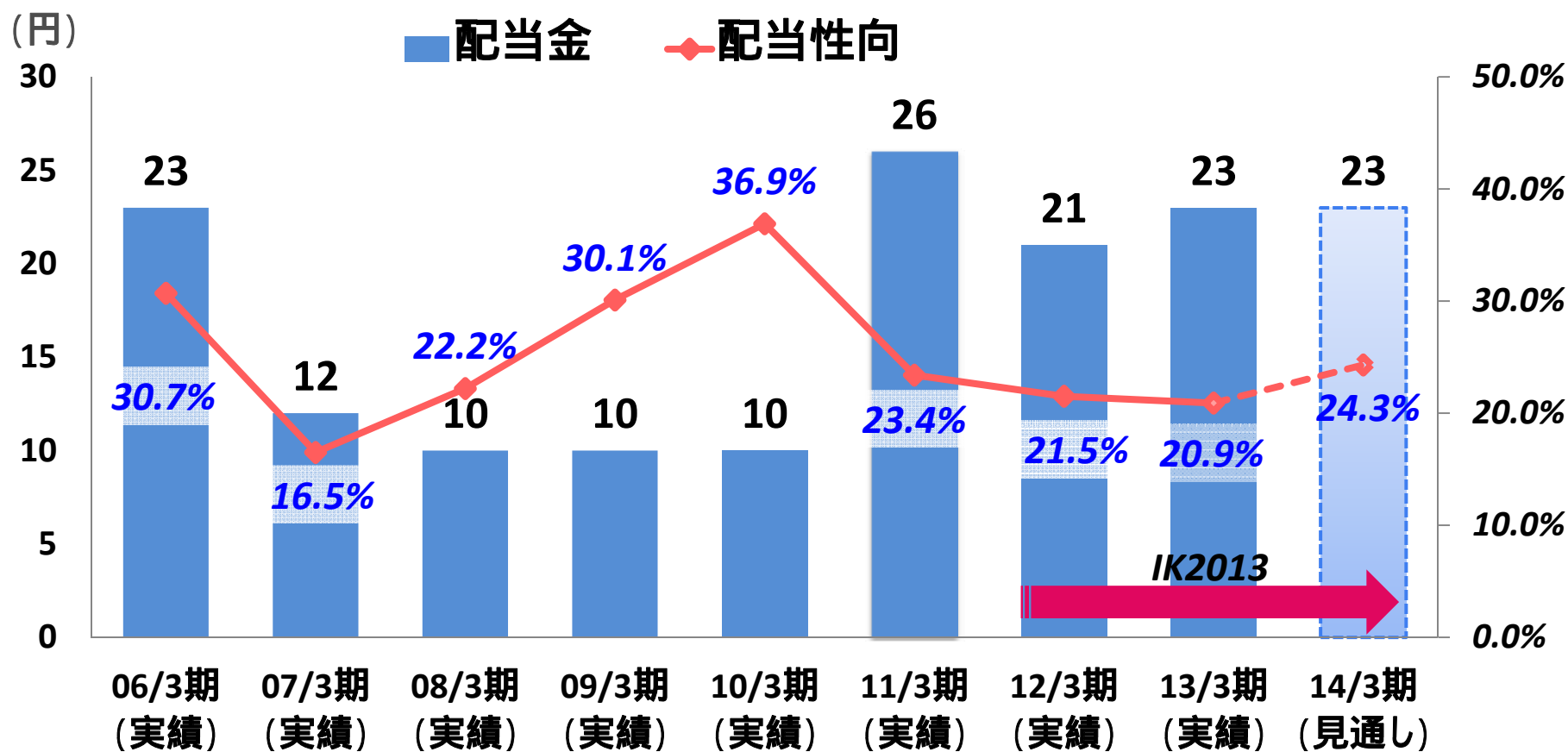


株主への利益還元



1株当たりの年間配当金と配当性向

配当性向 20~30%を目安



(注) 11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

□ 配当方針：

連結当期純利益の20～30%を配当の目安
1株当たり最低限年間10円の安定配当に努める

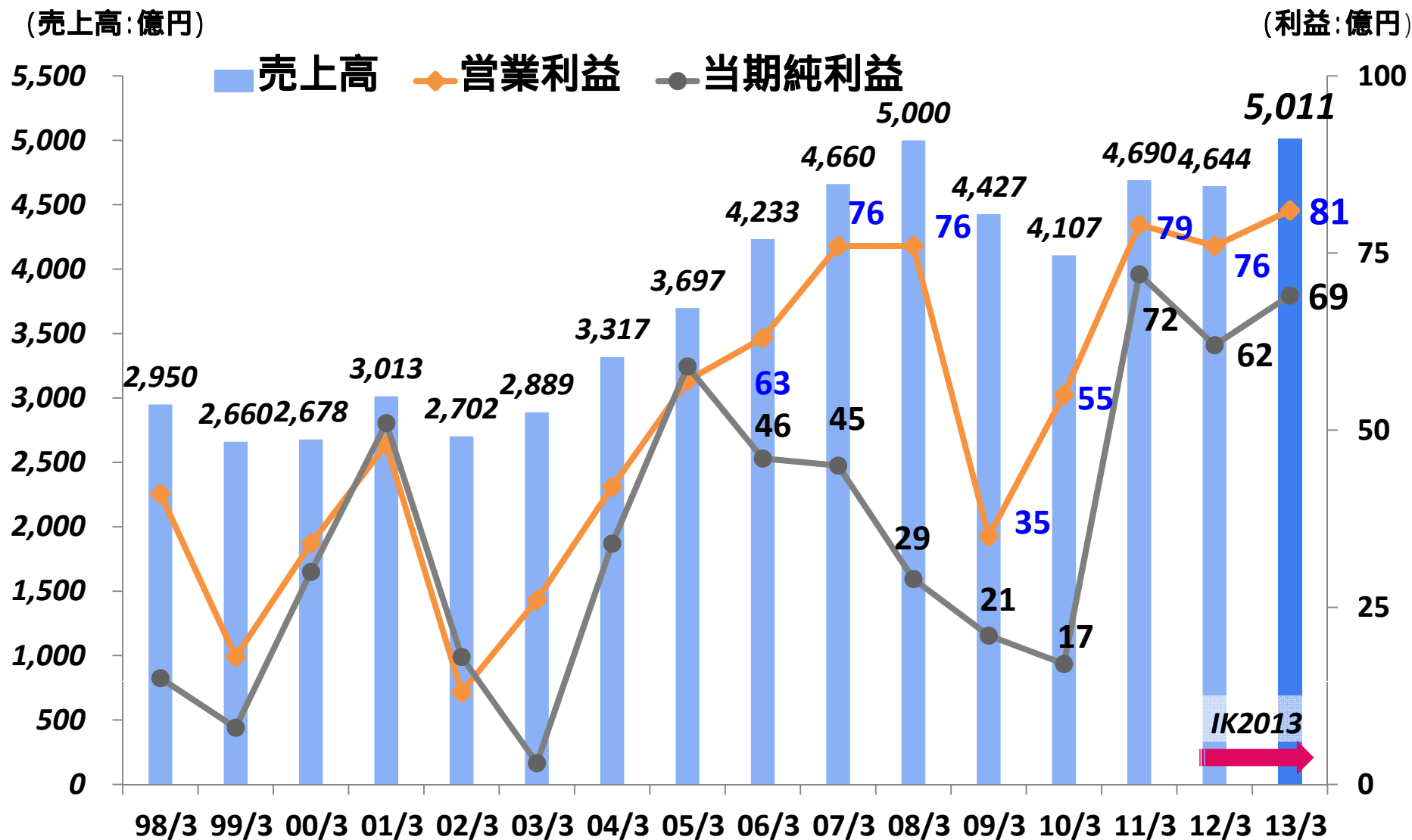
□ 自己株式の取得：**今後とも適宜、実施予定**

資本効率の向上を通じて、
株主還元、株主価値の向上を図る

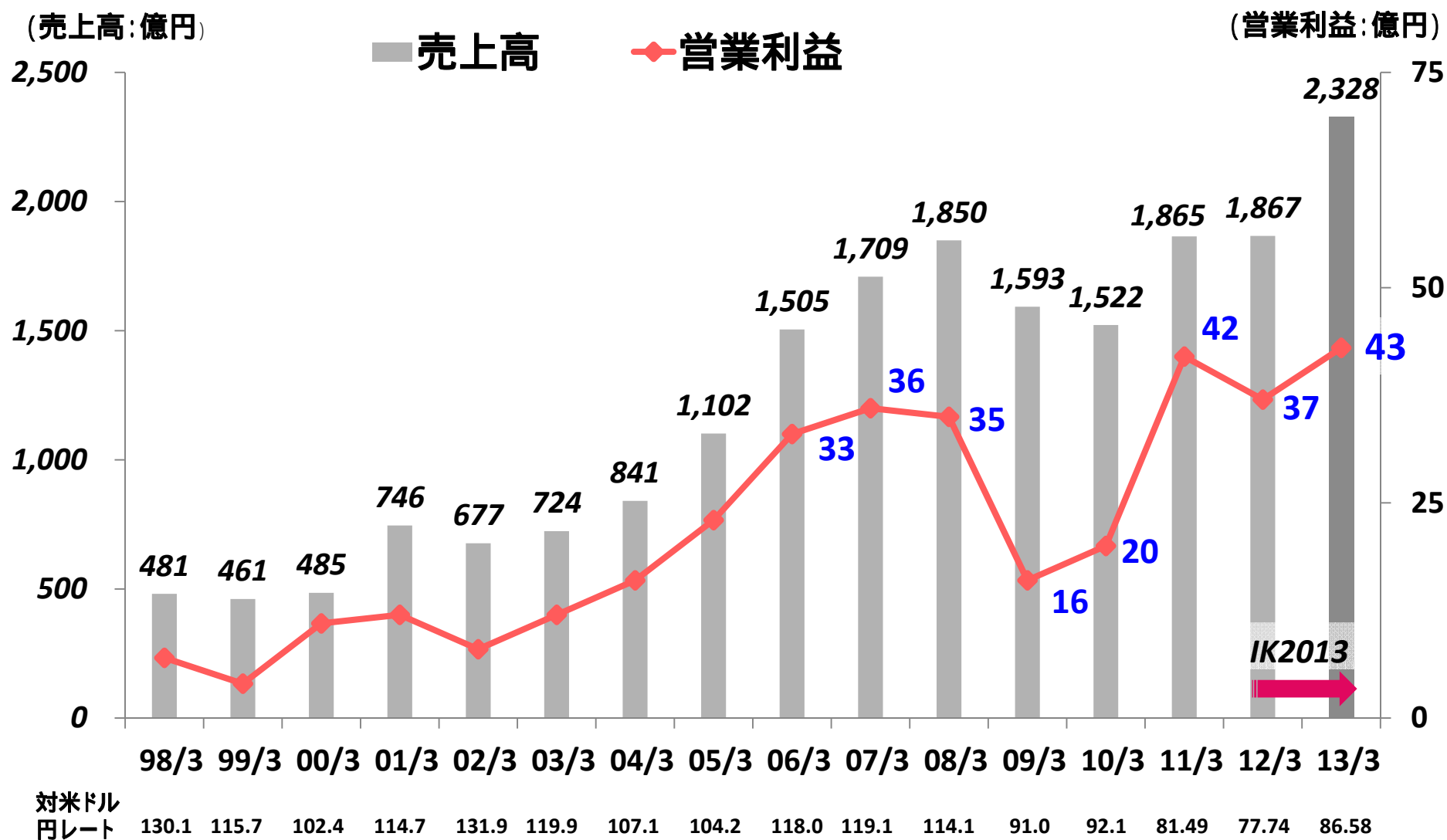
(2013年3月期の実施内容)

- 取得株式数 800,000株
- 株式取得価額 439,794,000円
- 取得期間 2012年8月8日～8月28日

(参考) 過去15年の連結業績の推移



(参考) 過去15年の海外の売上高と営業利益の推移



(参考)「IK2013」経営指標の推移



IK2013

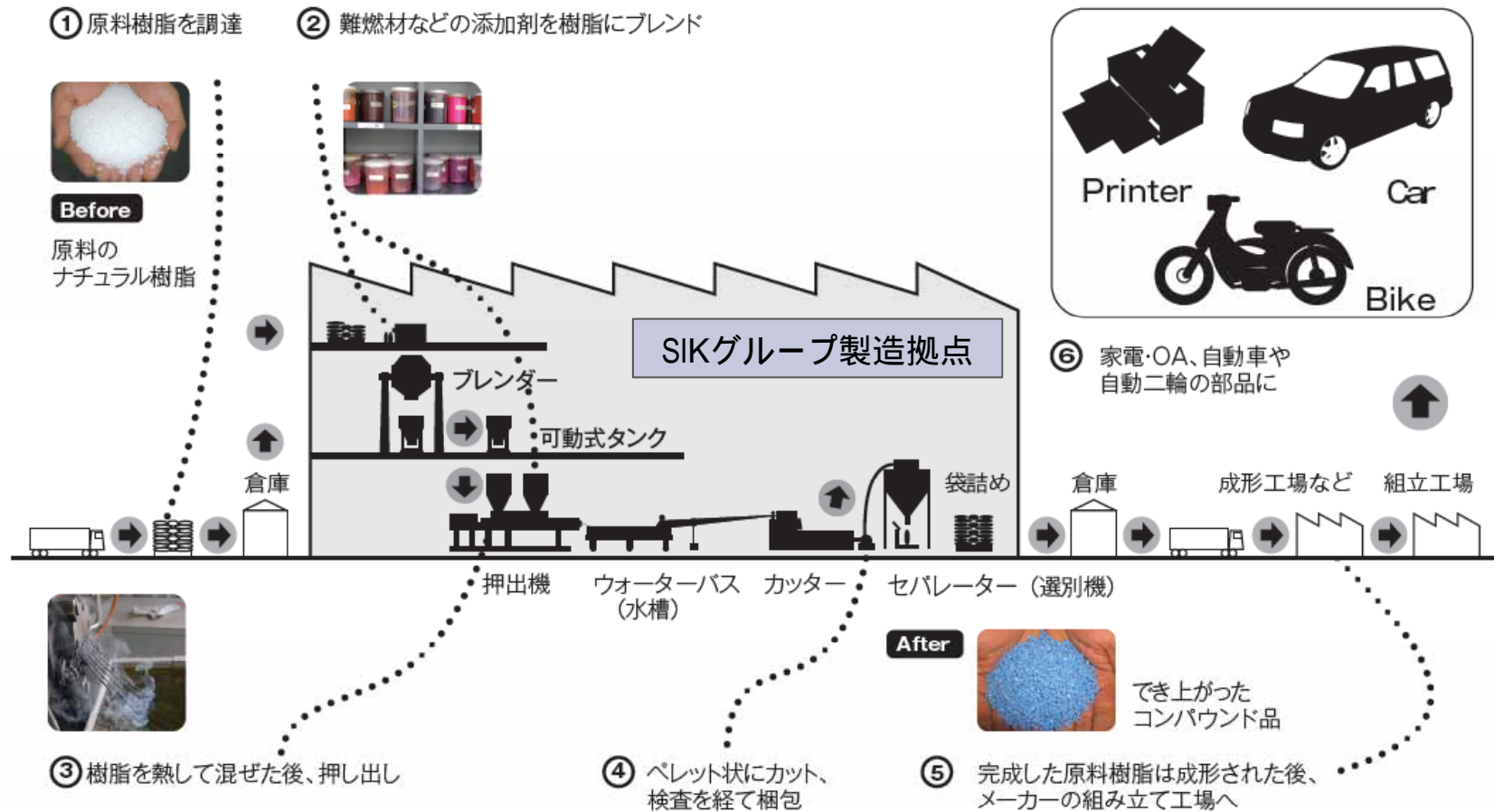


	09/3期 (実績)	10/3期 (実績)	11/3期 (実績)	12/3期 (実績)	13/3期 (実績)	14/3期 (中期計画目標)
自己資本比率(%)	29.1	29.5	29.9	30.7	35.4	29.1
ROE (%)	3.1	2.7	10.4 (注)	8.5	8.0	7.4
ネットD/E レシオ(倍)	0.85	0.79	0.62	0.82	0.50	0.72

(注)11/3期(実績)はアイケイファーマシー売却特別利益(税引前31億円)を含んだ数字で算出。

(参考) 樹脂コンパウンド事業の流れ

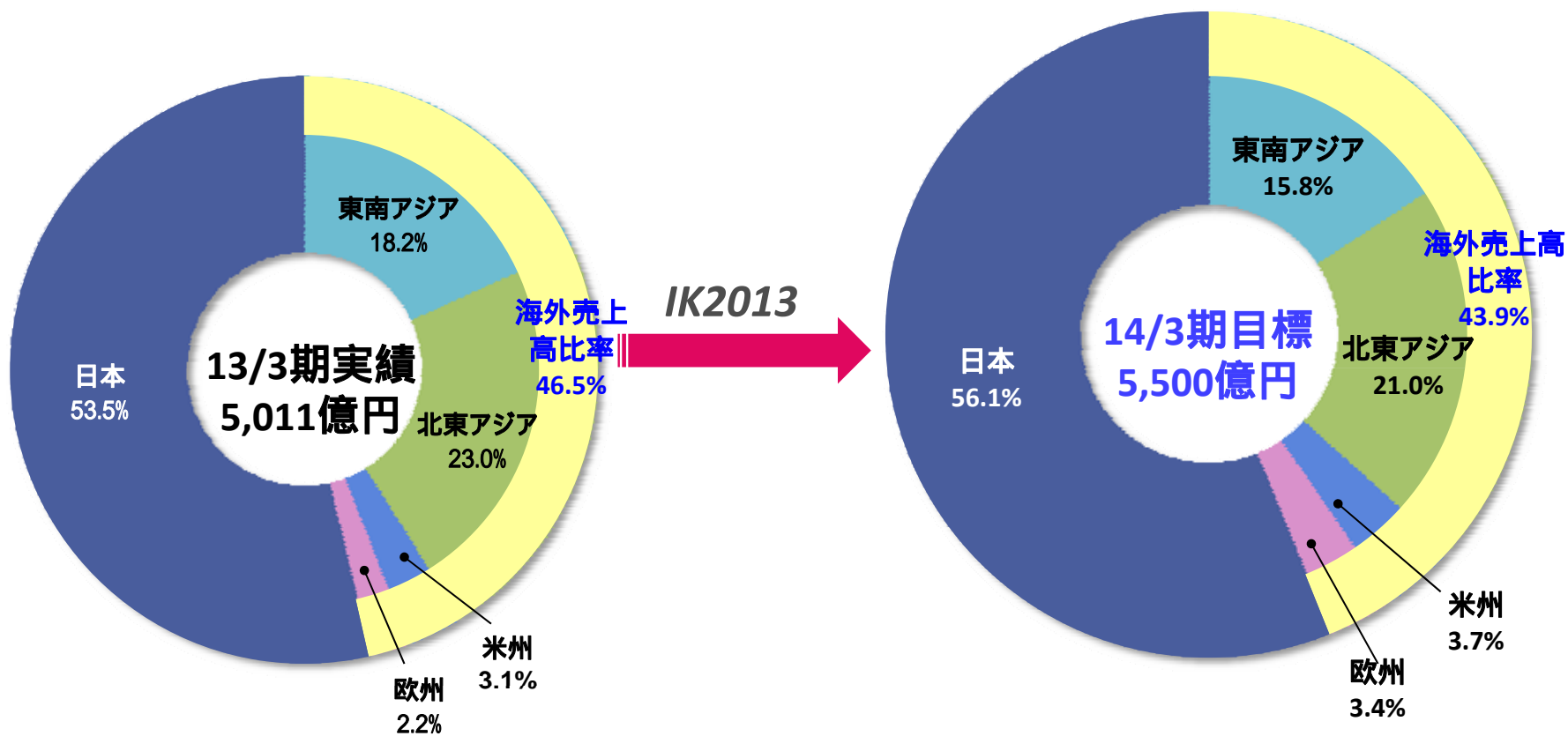
樹脂コンパウンドの流れ



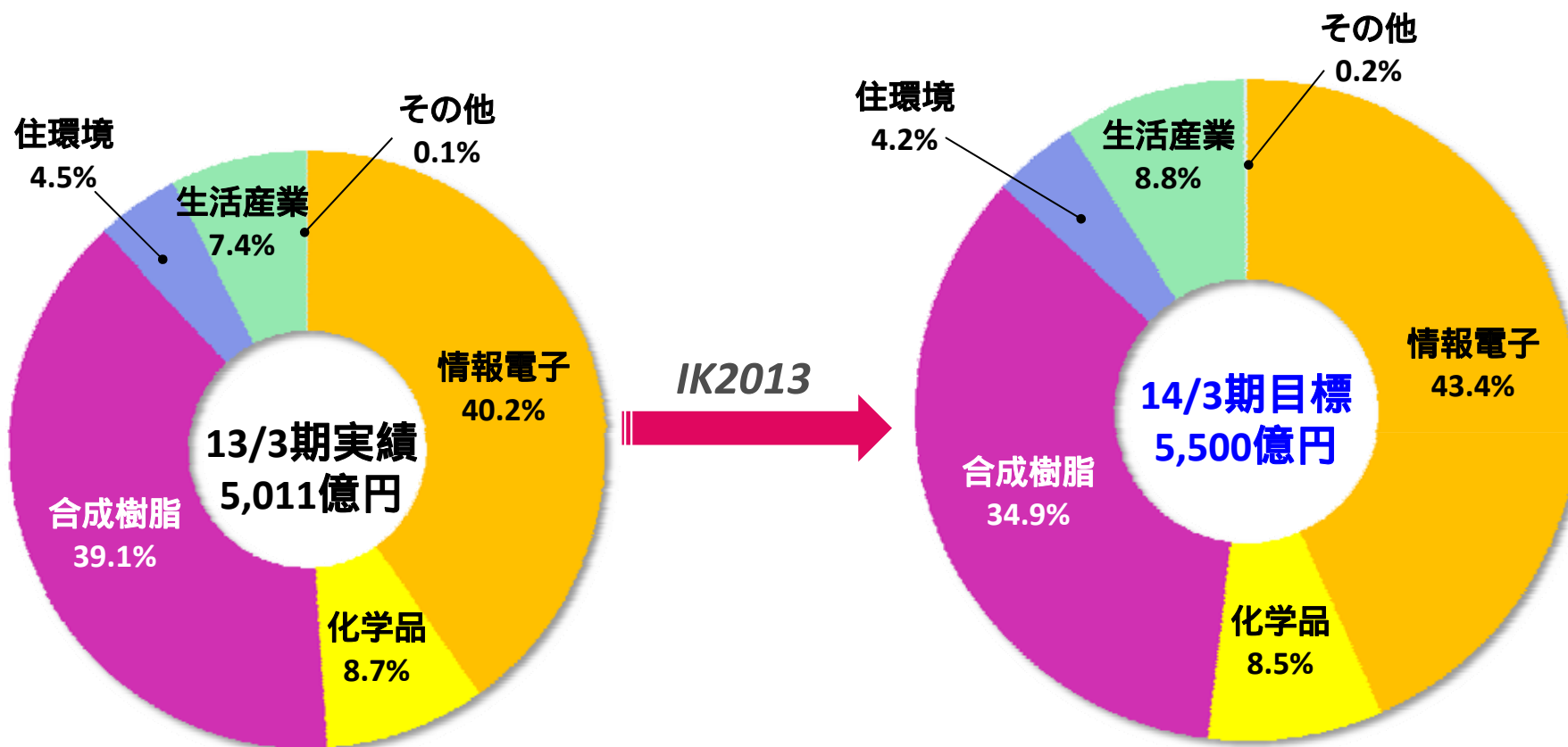
(参考) 地域別計画



地域別売上高構成比



事業別売上高構成比



(注) 14/3期「IK2013」目標の比率は、2012年4月1日からの新セグメントに組み替えたもの。

(参考) 事業セグメント概要



情報電子



ディスプレイ・ケミカル装置

液晶ディスプレイ (LCD) 関連、LED 関連業界への部材の供給および各種製造装置の取扱いを中心に、新規分野への展開も視野に高度な専門知識を活かした提案型ビジネスを展開。

映像・情報

複写機、プリンター業界のお客様にインクジェットやトナー原料、カートリッジなどの各種部材の販売、また専門知識を活かした幅広いサービスを提供。

エネルギー・エレクトロニクス材料・電子材料

半導体、LED、タッチパネル、太陽電池、二次電池、産業用フィルム業界等のお客様に、原料からプロセス材料、製造・検査装置、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供。

合成樹脂



成型材

塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤やポリオレフィン系、スチレン系樹脂などの汎用樹脂から各種コンパウンド、エラストマー、エンジニアリング・プラスチック、合成ゴムまで幅広い仕入ソースを背景にお客様のニーズ、シーズに合致した提案や製品展開に注力

高機能樹脂

エンブラ、スーパーエンブラ、特殊樹脂を中心に家電、OA、電子部品、自動車、建材分野のお客様に提案

産業材

ポリオレフィン原料、フィルム製品が中心で、原料メーカーとのタイアップや海外展開により充実したサービスを提供。環境対応商品、高機能商品の開発にも注力。

フィルム・機能材

コンバーター業界に対するフィルムビジネスをコアに、工業材料分野・自動車分野にも製品展開を行い、汎用・高機能オレフィンフィルム販売から食品・工業用向け最終製品までのコーディネートを提供

シート・成形材

PP,PS,PET樹脂などのシート類やその原反のみならず製品加工までと原料から製品までと一貫介在し、物流コストの効率化・コスト低減に寄与

化学品



スペシャリティケミカル

自動車部品から電子材料まで多岐にわたる業界に高機能化学品をグローバルに展開。

パフォーマンスケミカル

塗料、インキ業界向けを中心としたコーティング原材料と製紙関連薬品、接着剤原料および製品等、幅広い商品をタイムリーに提供。

住環境



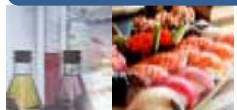
住宅建材

住宅メーカー・建材メーカー向けパーティクルボード、木材、集成材、建材、プラスチック製品などの販売

環境資材

住宅設備機器メーカー向け・非住宅分野向けに原材料から半製品・製品までの販売

生活産業



ファーマケミカル

ヒューマンヘルスケアの様々なシーンにおける医薬原料の提供

環境・ファインケミカル

日用必需品の原料調達をグローバルにサポート。商品の企画から製品までトータルソリューションを提供

食品

安心・安全な水産物、農産物を世界中から提供

(参考) 会社情報



会社名	稲畑産業株式会社	事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
創業	1890年10月1日	上場市場	東証一部、大証一部
設立	1918年6月10日	証券コード	8098
資本金	93億6千4百万円	単元株式数	100株
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 稲畑 勝太郎	株主数	5,303名
本社	大阪本社/大阪市中央区南船場 一丁目15番14号 東京本社/東京都中央区日本橋 本町二丁目8番2号	大株主の状 況(持株比率 上位3株主と 持株比率)	住友化学株式会社 21.8% 日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口) 4.3% 日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口) 4.2%
従業員数	585名〔連結3,661名〕		
発行可能 株式総数	200,000,000株		
発行済株 式の総数	65,159,227株		

(2013年3月31日現在)

人と人をつなく、あなたのベストパートナーでありたい。

IK 稲畑産業株式会社

□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

TEL 03-3639-6579 FAX 03-3639-6410

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。